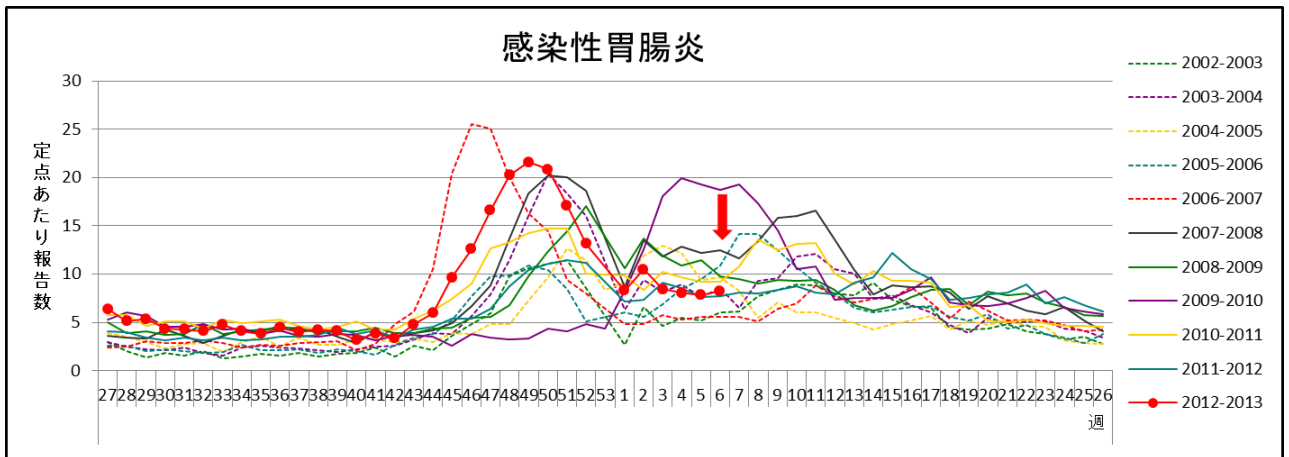


感染性胃腸炎情報 2013 年 第 6 週 (2 月 4 日 ~ 2 月 10 日)

- 岡山県内の患者報告数は 445 名 (定点あたり 8.24 人) であり、前週とほぼ同数でした。(54 定点医療機関報告)
- 感染性胃腸炎による臨時休業が、倉敷市の幼稚園 1 園、小学校 1 校でありました。

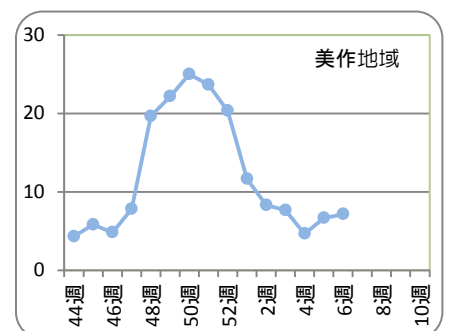
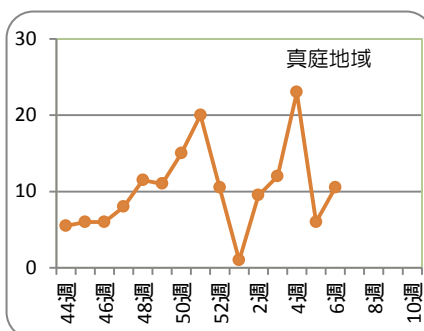
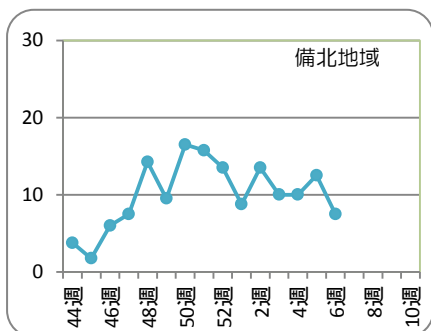
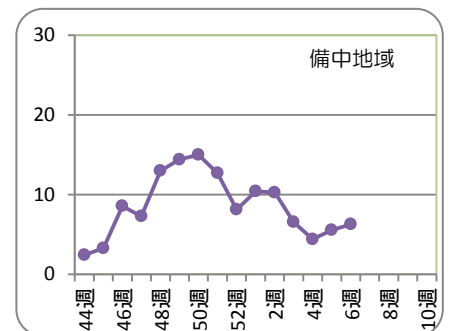
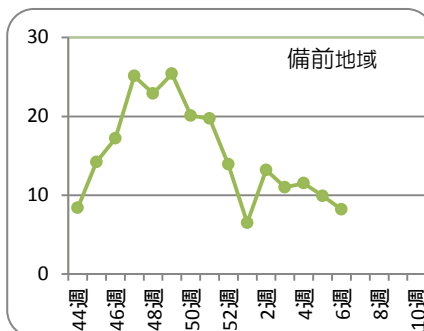
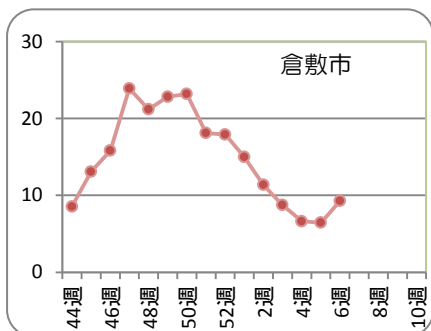
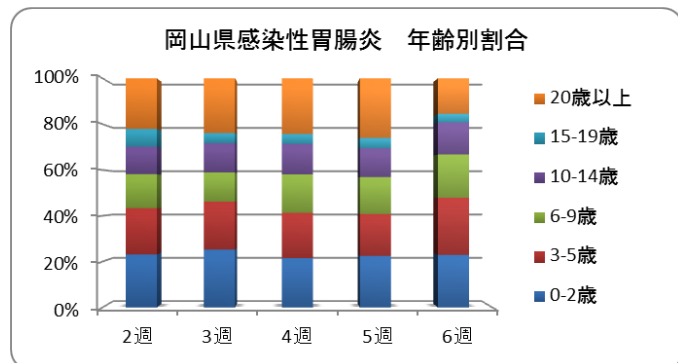
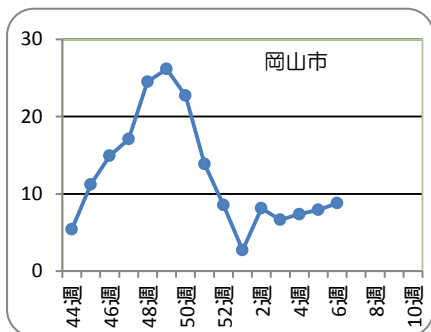


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数で (定点あたり 7.81 → 8.24 人)、第 3 週以降ほぼ横ばいで推移しています。地域別では真庭地域 (10.50 人)、倉敷市 (9.27 人) で患者発生が多くみられます。年齢別では、5 歳以下の幼児が全体の 48% を占めており、これまでより増加しています。大きな流行は過ぎたものの依然として流行シーズンはつづいており、学校等の臨時休業も報告されています。手洗いの徹底や、下痢便・吐物の適切な処理などの感染予防と拡大防止に努めてください。

また、これから春にかけて、0~2 歳の乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎も増加してきます。主な症状は嘔吐と下痢で、ノロウイルスに比べ重症度が高いといわれていますので注意が必要です。

◆地域別・年齢別発生状況

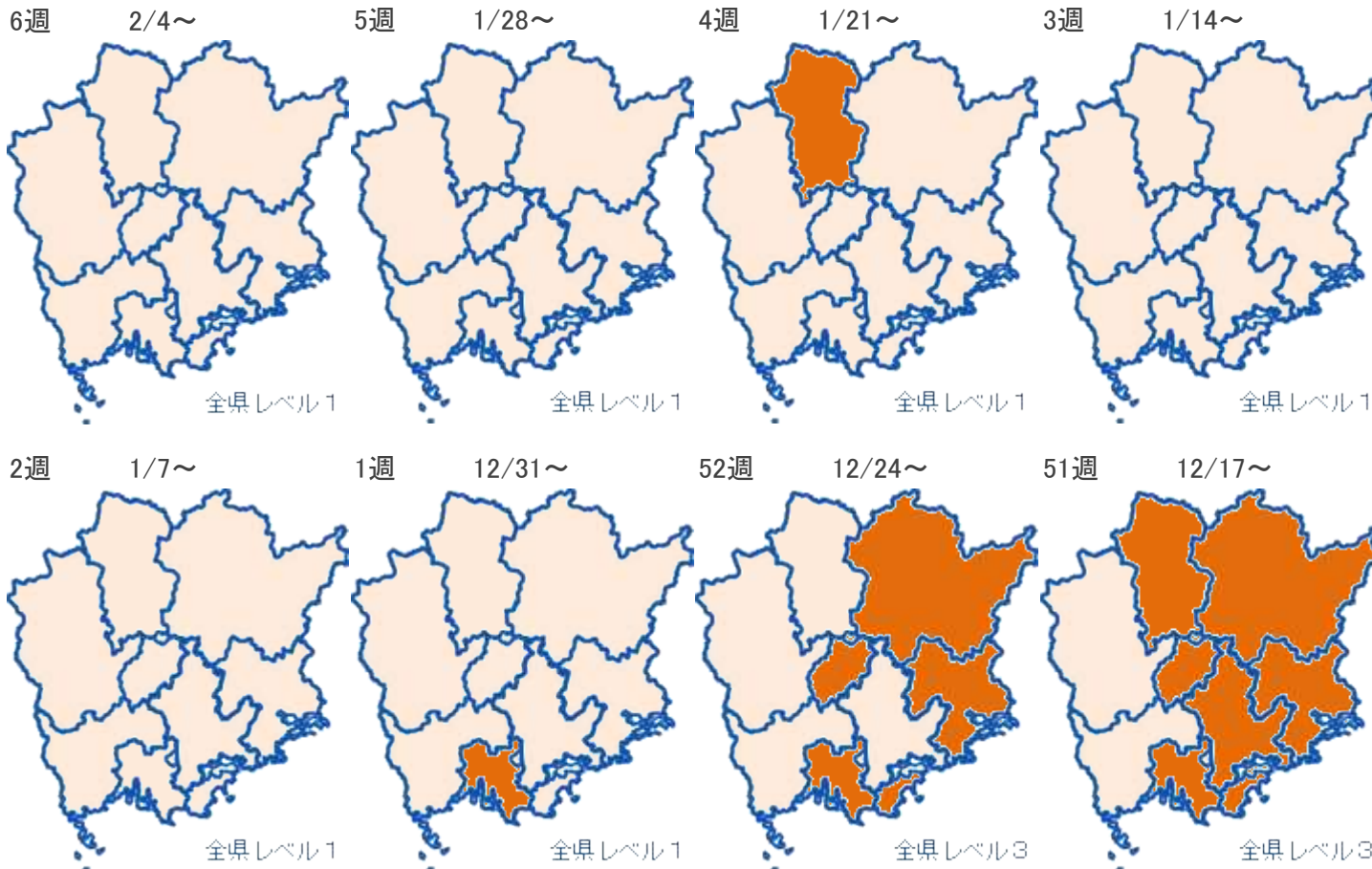




岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2013年 6週

2013年2月13日

14:14:33



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。